

地域住宅計画の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した地域住宅計画	
①計画の名称	館山市地域
②都道府県名	千葉県
③計画作成主体	館山市
④計画期間	平成18年度～22年度
⑤計画の目標	『安全でゆとりある住まい・まちづくりを実現する。』、『地域づくりにつながるような住環境向上を実現する。』
2. 事後評価の内容	
⑥実施体制・時期	館山市建設環境部都市計画課において評価を実施(平成23年4月)
⑦事後評価の結果	<p>指標1 :「バリアフリー化住宅の割合」 定義 :バリアフリー化された市営住宅の割合(屋外階段手摺の設置) 評価方法 :改修工事完了の割合 結果 :従前値:14%(平成17年度)⇒目標値:100%(22年度)⇒実績値:100% 結果の分析 :平成18年度に共同階段手摺設置工事により4階建て住宅の階段全てに手摺が設置され、目標値どおりの実績が得られた。</p> <p>指標2 :「ストック総合改善割合(外壁改修)」 定義 :市営住宅における外壁改修の工事実施の割合 評価方法 :外壁改修工事実施の割合 結果 :従前値:92%(平成17年度)⇒目標値:100%(22年度)⇒実績値:100% 結果の分析 :館山市地域住宅計画に予定されていた工事が終了したため目標値どおりの実績が得られた。</p> <p>指標3 :「ストック総合改善割合(屋上防水改修)」 定義 :市営住宅における屋上防水改修の工事実施の割合 評価方法 :屋上防水改修工事実施の割合 結果 :従前値:12%(平成17年度)⇒目標値:80%(22年度)⇒実績値:50% 結果の分析 :予定していた工事のうち、船形、那古、笠名の市営住宅の工事が完了したが、本計画で予定していた残りの笠名2棟と萱野住宅の工事が市の財政状況等を勘案し、未実施になってしまったため、実績値が50%になってしまった。</p>
⑧結果の公表方法	館山市のインターネットにて公表を行うとともに、窓口にて閲覧可。
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨今後の住宅施策の取組への反映	<p>・バリアフリー化住宅の割合については目標達成に至ったが、今後も高齢者や障害のある人が安心・安全に住み続けることができるよう、引き続き取り組みを進めていく。</p> <p>・ストック総合改善割合は、外壁改修が目標の達成に至ったが、屋上防水については、目標に至らなかった。目標達成の結果に係わらず、既存市営住宅をより長期間良質なストックとして活用するため、今後も市の財政状況、社会情勢等を勘案し、長寿命化計画を作成していく。</p>
⑩その他	(特記すべき事項があれば記載)

※この事後評価は別添の地域住宅計画について行ったものである。